



# ライブラリー

福崎町立図書館 としょかんだより No.56

# 2014.10

《平成26年10月16日発行》

福崎町西治360番地1 TEL. 0790-22-3790  
http://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/library/

## 絵本作家 ディック・ブルーナ

7月31日にミッフィーで知られるディック・ブルーナ氏が創作活動の休止を発表しました。今年は日本で「うさこちゃん」シリーズが翻訳されて50年になります。

ブルーナは1927年にオランダのユトレヒトで誕生。出版社を経営する父の関係で芸術家が訪れ、多くの本がある家庭で育ったブルーナは絵や音楽を愛する少年に育ちました。高校を中退し、ロンドンなどで出版の勉強をした後結婚。父親の出版社でデザインの仕事に就き、本の装丁を行いながら絵本を描き始めます。ミッフィーシリーズの1作目の『ちいさなうさこちゃん』が描かれたのはこの頃でした。

1959年に、限られた色で描かれたイラストや、韻を踏んだ文章を用いた正方形の絵本を制作しました。これが我々のよく知るブルーナの絵本の原型となります。1963年『ちいさなうさこちゃん』が描き直され、各国で翻訳されました。1970年には独立してメルシス社を設立。絵本創作の他にユニセフや募金活動のポスター作成など、社会福祉活動も行うようになります。

ブルーナは、子どもが温かい気持ちになる絵本を作ることを大切にしていました。死や障害など難解なテーマも子どもに分かりやすく伝え、いつもハッピーエンドで締めくくられています。子どもだけでなく、大人も楽しめるブルーナの絵本。大人になって読むと、子どもの時とは違う感想が得られるかもしれません。

参考『ディック・ブルーナのすべて』



福崎町立図書館には、ブルーナの絵本がたくさんあります！  
(おはなしのへやにあります。)

『ディック・ブルーナのすべて』  
(監修 ディック・ブルーナ メルシス社 講談社 726.6 デ)



『ディック・ブルーナのデザイン』  
(芸術新潮編集部 編 新潮社 726.6 ブル)



### 図書館カレンダー

※    は休館日です。

#### 11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5 えほんの じかん 11:00~	6 資料整理日	7	8
9	10	11	12	13	14	15 おはなし会 11:00~
16	17	18	19	20	21	22 映画会 14:00~
23 30	24	25	26	27	28	29

#### 12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 えほんの じかん 11:00~	4 資料整理日	5	6 おたのしみ会 14:00~
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20 クリスマス会 10:00~
21	22	23	24	25	26	27 映画会 14:00~
28	29	30	31	★12/28~翌年1/3まで休館いたします		

# 福崎町立図書館 展示のお知らせ



## 大風展示中

図書館のギャラリーにて志水洋己さんによる大風「鶴亀」を展示中です。志水さんは福崎町在住で、理容業をされながら長年大風の制作をされています。

今月は鶴と亀が描かれた縁起の良いもので、125×73センチという迫力の大きさです。図書館では、志水さんの作品を毎月交代で展示予定です。ぜひご期待ください。



## 秋祭りの写真を募集します

福崎町立図書館では、秋祭りの写真を募集しています。提供していただいた写真は図書館のギャラリーに展示させていただきます。

直接写真を図書館にお持ちいただくか、郵便でお送りください。(人物が写っている場合は、その方の許可を取ってからご提供いただくようお願いします。)

図書館では秋祭りの写真を記録として残していきたいと考えております。ご協力をお願いいたします。

## こどものほん

えほん/1・2年生 3・4年生～ 5・6年生～



## サーカスの本



ドキドキ、わくわくなサーカス。

どんなお話があるかな？

『パパがサーカスと行っちゃった』

(エットガール・キャロット 文)

サーカスがきてパパはおおよろこび。だけど、パパはいっしょにいっちゃった！せかいをたびしたパパは、あるひぼくらのまちなかえってきた。

『サーカスの小びと』

(エーリヒ・ケストナー 作)

サーカス・シュティルケにはメックスヒェンという小びとがいました。メックスヒェンはサーカスで大人気でしたが、悪者にさらわれてしまいます。



『サーカス!』

(ピーター・スピア 作)

まちにサーカスがやってきた！いろいろなひとやどうぶつが、じゅんぴをしているみたい。どんなサーカスになるか、たのしみだね！

『サーカスの学校』

(にしもと 西元まり 文)

カナダのモントリオールには、サーカスの学校があります。世界中から来た若者が一人前のサーカス・アーティストになるために、たくさん勉強をしています。

## どこかで誰かが

ほんだな



8月9日、カナダのファンタジア国際映画祭で「太秦タイムライト」が最優秀作品賞である「シュバル・ノワール賞」と最優秀主演男優賞を日本映画で初めて受賞しました。

主演であり主人公のモデルとなったのは、俳優の福本清三さん。時代劇やテレビドラマにおける「斬られ役」の俳優です。斬られた回数は5万回にのぼるベテラン。2002年の「ラストサムライ」では、トム・クルーズと共演しハリウッドデビューを果たしました。

そんな福本さんの本は、半生や映画撮影の裏側について軽快な関西弁で語られています。過酷な撮影の中でも「どこかで誰かが見てくれる」と40年以上に渡って斬られ続けたひたむきな姿勢は、私たちに諦めないことの大切さを教えてくれます。

『どこかで誰かが見てくれる』

(福本清三・小田豊二 著 集英社 B778.2 フク)



## としょかんよりお知らせ

### 利用カード紛失について

図書館の利用カードを紛失される方が増えています。カードは再々発行以降有料になります。利用カードが見当たらないときはもう一度よく探してみてください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 読書週間が始まります

10月27日から11月9日までは読書週間です。今年の標語は「めくる めぐる 本の世界」。過ごしやすいこの季節に図書館をご利用ください。

